

北区の景況

平成 29 年 10～12 月期

調査対象 製造業 124 社 小売業 81 社
 サービス業 36 社 建設業 40 社
 調査方法 面接聴取法
 調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会
 分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、平成29年12月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヶ月間(平成30年1～3月期)の予想をまとめたものです。

	好調		普通				不調	
	A	B	C	D	E	F	G	
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下	
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下	
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下	
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下	

※業況D | (前期→今期)

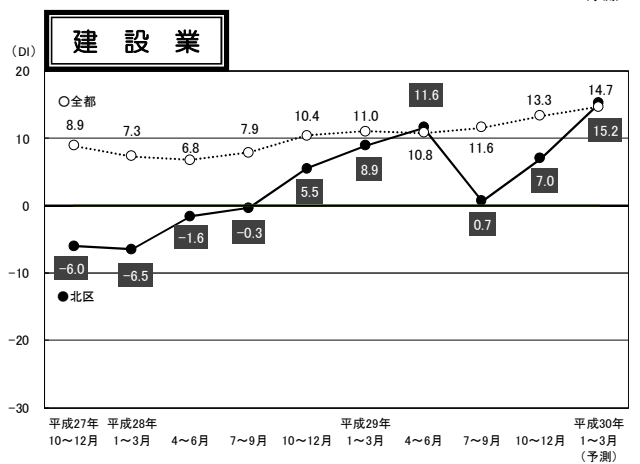
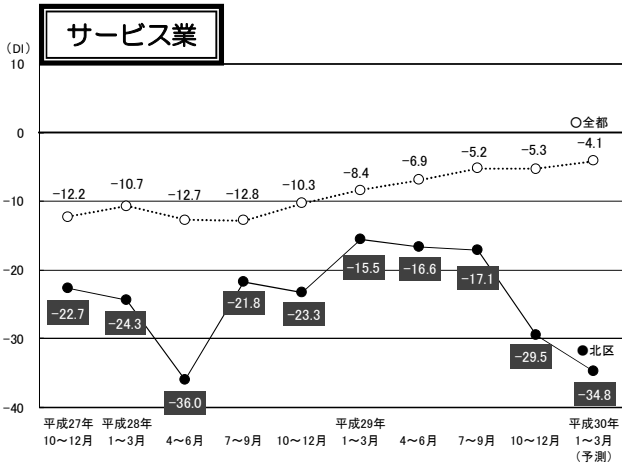
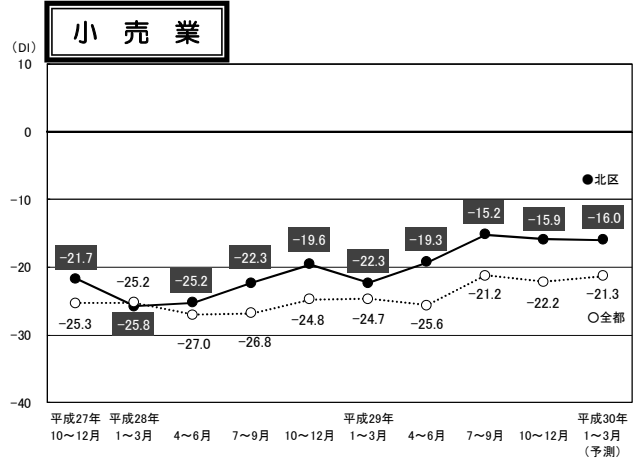
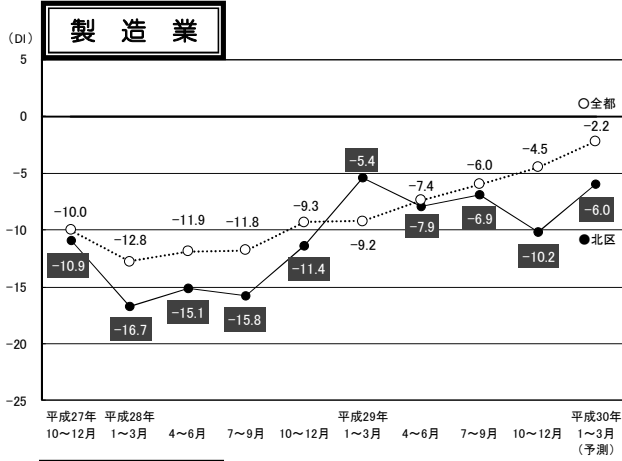
製 造 業	前期	 D	業況DI (Δ6.9→Δ10.2) は前期比3.3ポイント減と悪化幅がやや拡大した。全都 (Δ4.5) との比較では全都をかなり下回った。売上額と収益はともに前期並の悪化幅が続き、受注残も前期同様の水準で推移した。価格面では、販売価格は上昇幅がわずかに拡大し、原材料価格は上昇が多少弱まった。資金繰りは窮屈感が幾分和らぎ、借入難易度はわずかに楽になった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から5.1ポイントの減少となった。
	今期	 D	
	来期	 D	
小 売 業	前期	 D	業況DI (Δ15.2→Δ15.9) は前期比0.7ポイント増と同様の水準で推移した。全都 (Δ22.2) との比較では北区が7期連続で上回っている。売上額と収益はともに水面下ながら多少改善した。販売価格は大きく持ち直し好転した。仕入価格は上昇がやや強まった。資金繰りは窮屈感が幾分緩和し、借入難易度も厳しさが大幅に弱まった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から4.8ポイントの減少となった。
	今期	 D	
	来期	 D	
サ ー ビ ス 業	前期	 E	業況DI (Δ17.1→Δ29.5) は前期比12.4ポイントの減少となり、悪化幅がかなり拡大した。全都 (Δ5.3) との比較では13期連続で北区が下回った。売上額と収益はともに減少・減益幅が大きく拡大した。料金価格は下降から上昇にわずかに転じた。材料価格は上昇が若干強まった。資金繰りは窮屈感がわずかに緩和し、借入難易度は大きく悪化し厳しさが強まった。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から0.9ポイントの増加となった。
	今期	 F	
	来期	 F	
建 設 業	前期	 C	業況DI (0.7→7.0) は前期比6.3ポイント増と堅調に推移した。全都 (13.3) との比較では、2期連続全都を下回ったものの差は縮小した。売上額は増加幅がかなり拡大したが、収益は前期並の増加幅で推移した。請負価格は上昇傾向が若干弱まったが、材料価格は上昇が幾分強まった。資金繰りは大きく改善し窮屈な状況から容易感が出てきた。借入難易度も厳しい状況を脱した。設備投資を「実施した」とした企業は前期から12.5ポイントの大幅な減少となった。
	今期	 C	
	来期	 B	

※DI(Diffusion Index)とは

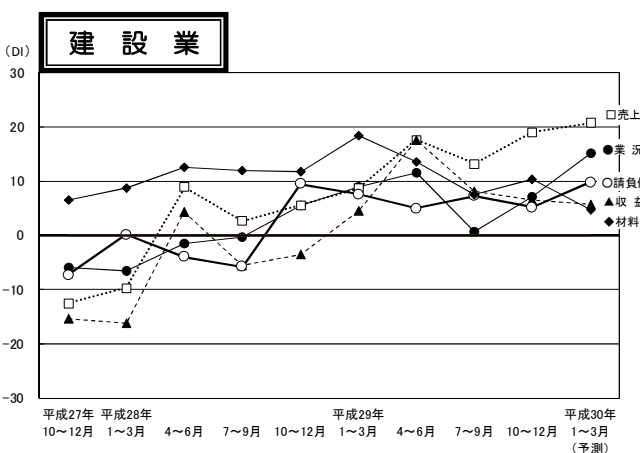
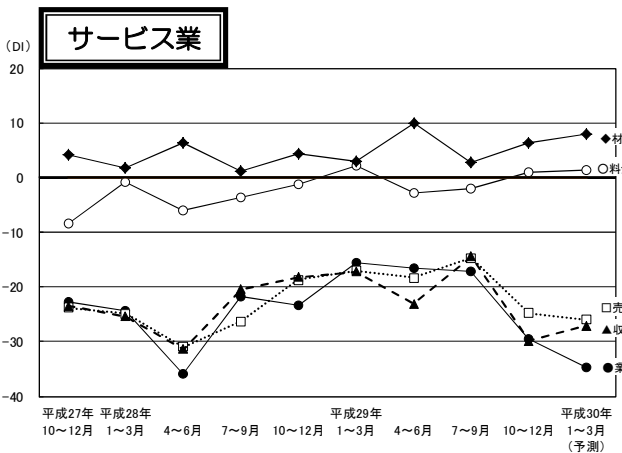
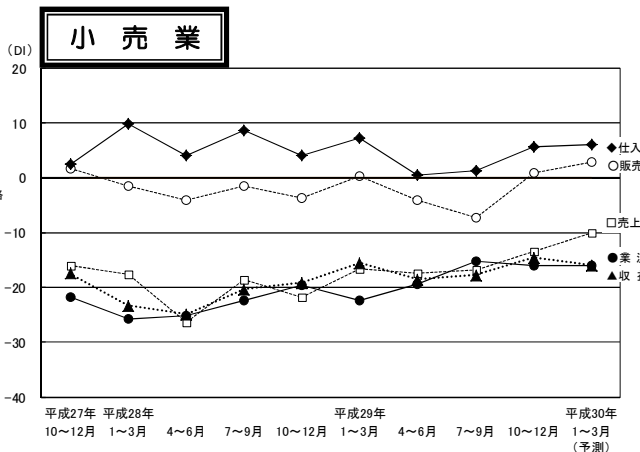
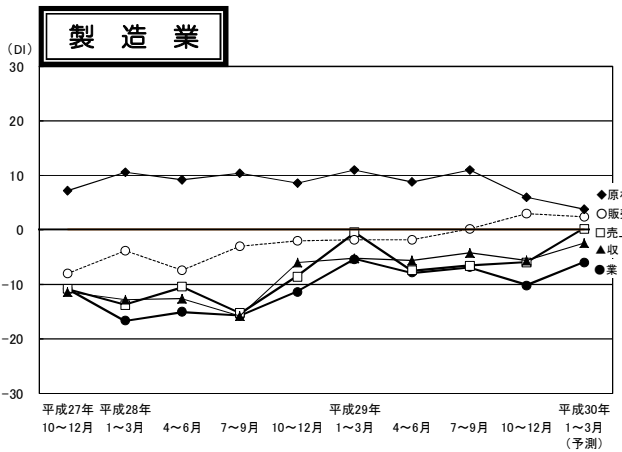
DI(ディーアイ)は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

例:「良い」28.7%、「どちらでもない」49.4%、「悪い」21.9%の場合 → 28.7-21.9=6.8 (=DI)

北区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



北区 業種別 経営上の問題点

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	売上の停滞・減少	48.4%	売上の停滞・減少	46.9%	同業者間の競争の激化	55.6%	同業者間の競争の激化	42.5%
	同業者間の競争の激化	34.7%	同業者間の競争の激化	39.5%	売上の停滞・減少	41.7%	人手不足	40.0%
	利幅の縮小	29.0%	大型店との競争の激化	32.1%	取引先の減少	16.7%	売上の停滞・減少	35.0%
	大手企業との競争の激化	14.5%	商店街の集客力の低下	22.2%	商圏人口の減少	11.1%		
	人手不足	12.9%	利幅の縮小	13.6%	利幅の縮小 人手不足	8.3%	大手企業との競争の激化	22.5%

北区 業種別 重点経営施策

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	販路を広げる	71.0%	経費を節減する	53.1%	販路を広げる	41.7%	販路を広げる	62.5%
	経費を節減する	50.0%	宣伝・広告を強化する	30.9%	宣伝・広告を強化する	36.1%	経費を節減する	47.5%
	情報力を強化する	19.4%	商店街事業を活性化させる	23.5%	経費を節減する	33.3%	技術力を高める	32.5%
	新製品・技術を開発する	18.5%	品揃えを改善する	22.2%	人材を確保する	16.7%	情報力を強化する	25.0%
	人材を確保する	12.1%	売れ筋商品を取り扱う	14.8%	技術力を強化する	11.1%		

東京都の景況

<製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益ともに水面下ながらわずかに改善した。受注残は前期同様の水準が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格はわずかに上昇が強まった。来期の業況は明るさが見えると予想している。売上額・受注残は増加に転じ、収益は今期同様の水準で推移すると予想している。

<小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上・収益も前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格はやや上昇傾向を強めた。来期の業況は、今期同様の厳しさが続くとは予想している。売上額・収益は水面下ながら持ち直すとみている。

<サービス業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上は増減なく推移し、収益は前期並の減少が続いた。価格面では、料金価格はわずかにプラスに転じ、材料価格は前期並の上昇が続いた。来期の業況は今期同様の厳しさが続くとはみている。売上額・収益は水面下ながら持ち直すと予想している。

<建設業>

業況は前期並の好感が続いた。売上額はやや強含み、受注残・施工高・収益は前期同様の増加が続いた。価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇が強まった。来期の業況は今期を上回ると予想している。売上額・受注残・施工高・収益は今期同様の増加が続くとみている。

特別調査「平成30年の経営見通しについて」

問1 平成30年の日本の景気見通し

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全業種	-	0.7	9.1	52.8	23.1	13.0	1.3
製造業	-	-	12.1	52.4	21.8	12.9	0.8
小売業	-	-	3.7	53.1	25.9	16.0	1.2
サービス業	-	2.8	2.8	41.7	27.8	19.4	5.6
建設業	-	-	20.0	60.0	17.5	2.5	-

問2 平成30年の自社の業況見通し

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全業種	0.3	1.6	7.5	57.3	24.1	7.8	1.3
製造業	0.8	1.6	8.1	59.7	21.8	7.3	0.8
小売業	-	-	2.5	56.8	32.1	7.4	1.2
サービス業	-	2.8	-	47.2	27.8	16.7	5.6
建設業	-	5.0	25.0	52.5	15.0	2.5	-

問3 平成30年の売上額伸び率の見通し

	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全業種	-	1.0	3.3	13.0	59.3	17.9	4.6	-	1.0
製造業	-	1.6	3.2	14.5	62.1	13.7	4.8	-	-
小売業	-	-	1.2	7.4	65.4	19.8	4.9	-	1.2
サービス業	-	2.8	5.6	5.6	38.9	36.1	8.3	-	2.8
建設業	-	-	7.5	25.0	47.5	15.0	2.5	-	2.5

問4 自社の業況が上向き転換点の見通し

	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全業種	8.1	3.9	11.4	9.8	10.4	13.0	43.3
製造業	8.9	5.6	12.9	11.3	12.1	12.1	37.1
小売業	3.7	1.2	9.9	6.2	11.1	11.1	56.8
サービス業	5.6	2.8	2.8	-	8.3	16.7	63.9
建設業	20.0	5.0	17.5	15.0	12.5	15.0	15.0

問5 景気回復をより実感できるようになる状況

	企業収益の改善	賃金の上昇	物価の安定	雇用機会の増加	後向きな話題・報道の減少	株価・地価の上昇	社会保障の充実	海外に関するリスクの低減	その他	どのようになっても景気回復を実感できない
全業種	62.1	42.8	18.3	17.3	16.0	14.4	12.1	1.6	1.3	5.2
製造業	69.4	41.9	21.0	14.5	14.5	15.3	13.7	3.2	-	4.8
小売業	54.3	42.0	17.3	13.6	19.8	9.9	13.6	-	-	7.4
サービス業	38.9	52.8	13.9	13.9	16.7	8.3	19.4	-	2.8	8.3
建設業	77.5	50.0	17.5	37.5	17.5	12.5	2.5	2.5	5.0	2.5

本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都北区地域振興部産業振興課

TEL:03(5390)1234 FAX:03(5390)1141

刊行物登録番号

29-2-017